

# 平田ロータリークラブ 週報

平成18年1月19日

No.1548

発行日 毎週木曜日

## 超我の奉仕

国際ロータリー会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー  
第2690地区ガバナー 延原 正

△事務局▽

島根県出雲市平田町2280-1  
平田商工会議所2F TEL 0853-63-3232  
FAX 0853-63-5365  
A.M. 9:00 ~ P.M.5:00 土・日曜・祝祭日休局

会長 大谷 孝 副会長 加藤喜久  
幹事 内田節夫 会計 加藤昇

## 例会プログラム

例会	卓話者	演題
第1548回	18:30~	夜の例会
第1549回	会員 河原治子・渡部直人・持田稔樹	年男・年女の抱負
第1550回		

## 出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正率
50	36	14(3)	76.60	—

欠席者 原孝・黒田・加藤昇・榎野・田中浩・大島治・金田・三代・團山・團(曾田・田中・森山・石倉)  
来訪者 浅田・永島・渡部・勝部(出雲) 水谷・山本・浅津(出雲南)  
宮本・周藤・森山(出雲中央) 影山(松江しんじ湖)  
M U 1/13大島卓・遠藤・原田・持田・高砂・加藤昇(出雲南)

## 幹事報告

### 1. 例会変更

- 松江RC 1/25(水)
  - 松江南RC 1/23(月)
  - 松江東RC 1/26(木)
  - 松江しんじ湖RC 1/24(火)
  - " 2/21(火) 夜間例会
- } 4RC合同例会(夜間)

ビジター受付 各クラブ定刻定例会場

2月2日例会受付当番

石橋一彦・田中久雄・田中浩史

★松江南クラブ(月)  
★出雲中央クラブ(月)  
★松江しんじ湖(火)

★出雲クラブ(火)  
★松江クラブ(水)  
★大社クラブ(水)

★平田RAC(第1・3水)  
★松江東クラブ(木)  
★出雲南クラブ(金) 1/13

## 会長挨拶

私も古希となり、先日、小学校の古希の同窓会を大雪の中、一泊で玉峰山荘へ行って来ました。同窓会にもいろいろな段階がありますが、小学校の同級生とのものが一番なつかしく、職業もいろいろで一番楽しいものです。この同窓会は42才の厄年から始まり当初は3～5年に1度でしたが還暦からは毎年です。

この間の話題の推移をみますと、40～50才は自分の仕事、級友の動静、50～60才は仕事のことに加え家族、特に子供のこと、将来のこと、60才からは子供より孫のこと健康のこと、65才頃からは子供の頃のこと、健康と趣味のことが中心話題になっています。

人間70年もしていますと多少の身体にトラブルがありますが、お蔭で同窓会に出席している者の共通点は殆どの者が医者や薬を飲み、保健の為に自分なりに耕作した食べ物、飲み物、サプリメントを使用し、また各種の運動をしています。そして趣味を持ち、それを通じての対人、対社会へのつながりを持っていることだと思います。即ち、一病息災と趣味のことです。

同窓会もメンバーが固定してきました。夜おそくまで語り合いました。いつごろまで同窓会が出来るかの話となりました。

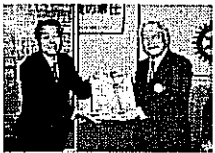
私は小学校の同級生で80才を越えて年に数回、同窓会を開いている人の話をしました。皆さん80才以上で小学校の同窓会、どんなものか想像出来ますか。

同窓会は、明るい昼間、話のご馳走、世間話、友達の動静、子供の頃のこと、健康の話など、最後に男女手をつないで唱歌をうたうそうです。全く童心にかえっての同窓会ですね。

それを話したら「いやだ、いやだ。手をつないで歌など想像出来ない」、「人生は最後は童心か」など意見が出ました。

結論は「とりあえず、手をつないで歌が出るまで頑張ろうや」、「歌が出たら考えよう」、「歌が出たらおしまいだ」でお開きとなりました。

同窓会はみんな元気でいつまでも続けたいものです。



## 夜 間 例 会

会員誕生、夫人誕生、結婚記念の記念品をそれぞれにお渡しし、和やかに親睦を深めながら新年例会が行われました。

## ロータリーミニ情報

ロータリー情報委員会

米山奨学事業とは

### 1. (財)ロータリー米山記念奨学会の目的と事業

米山記念奨学会では、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に対して奨学金を支給しています。

年間の奨学金支給額はおよそ16億円\*、1967年には財団法人として許可を受け、これまでに101カ国から12,206人の奨学生を支援してきました。規模と実績ともに民間で最大の留学生奨学団体となっています。 \*2004年度予算

### 目的

米山奨学事業は、ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め、国際親善と交流を深めるために優秀な留学生を支援し、世界平和の創造と維持に貢献することを目的としています。

米山奨学生は奨学期間中にロータリーの例会や奉仕活動に参加することによって、日本の文化、習慣などを学び、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来、世界平和の創造と維持に貢献する人物となることが期待されます。

### 主な事業

米山奨学会では目的を達成するために、次の事業を行っています。

- 奨学金の支給
- 世話クラブとカウンセラー制度
- ロータリアンと奨学生との交流
- 国内外での学友会活動

奨学金による経済的支援だけでなく、世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援が特長です。ロータリーの豊かな人的資源を活かした世話クラブとカウンセラーは、奨学生や大学からの期待も大きく、その充実と強化が今後の課題となっています。

当クラブは、張 燕さんを米山記念奨学生としてお世話させていただいております。